

特55

393

082134-000-7

特55-393

作文ノ助ケ

大槻 東陽ノ編

M9

DAD-0250



作文ノ助ケ

特55 393

作文助題辭
自古著書者其
言簡而備其辭
約而詳蓋不簡
則或陷繁劇不
約則或失煩雜
故著述之要其
言貴簡其辭貴
約是古今之通
義也屬者友人
大規東陽拔萃
古文之助字與

作文助

翰物博多類

類教育
屬作文
冊一
函四

女第。三第

四

先哲之釋義緝
 為一小冊子名
 曰作文助以示
 余々閱之以為
 得簡備約詳之
 節者矣童蒙之
 士若置之机上
 則於作文法未
 必無小補云爾
 明治九孟夏白
 井篤治誌

水村質清書



作文ノ助ケ

大槻東陽編輯

文

三

松井景泰訂

馬

助語類

此字ヲ句ノ間ニヲク意

六

詞ヲ浮テ去トキニ用ル也

○

盧氏ノ助語辞ニハ意揚發

才

トア合詞ヲ引テルユヘ

也

此ハカカ、彼ハカト、事

ヲ

イヒタツル時ニ用ユ、其ト

キ

ハ大カタ文意キレズ○天

何

言哉、四時行焉、百物生焉ノ

類

ナリ○又字書ニ語終辞○

柳

文ニ決スル辞トアリ、辞ヲ

居

ルユヘニ句ノ終リニ置テ

文

意が決ルナリ○章ノ終ニ

ア

リテモ、詞ノツヨカラ又所

ニ

置ク○我即其兩端而竭焉

○

民無德而稱焉○殞世子弟

留

守遠江者、與謀焉ノ類、又焉

作文取

トヨムハ格別ナリ分辨ノ部ニ詳カニ見タリナントシテドウシテト譯ス○字書ニ馬何也ト註セリ○馬用倭又○ハシ絶焉ハシ絶焉ト去トキモ辞ヲスエテ去ハン為ナリ

矣イ詞ヲツヨク、ヲシツケテ去マ時ニ用ユベシ、字書語已辞ト註ス○朱子ノ説ニ已然之辞トアリ、文意ノキレル處ニ用ユベシ○朝聞道夕死可矣○文天祥曰、願賜之一死足矣○其不眷恋下朝也審矣ノ類ハ詞ヲツヨク言テ文意ノ爽ル所也○庶矣哉○難矣哉ト去トキハ、矣ノ字ヲ加ヘテツヨク歎息セン為メ也、泰伯其可謂至德也已矣ト也字ヲ加ルハ、辞ヲスエテツヨク去ン為也○鬼神之為德其盛矣

乎ト去モ歎息ヲツヨク去ン為ナリ

而カラト去詞、字書ニ兼上起下之辞○韻會ニ抑又之辞ト註セリ、西洋ノ詞格ニ接續詞ト名ク、二物ノ間ニ置テ上下ヲ引續カス詞ナリ○飛羽鶴師醉月○恭師無禮則勞ト去ノ類○又發端ノ辞ニ用ル時ハ○シカルニ、シカシテト讀ム○師謀動干戈於邦内ト去類多シ、是ハ咄ノ中ニ、端ヲアラタメテソフシテカラト去詞ニシテ、前ノ部ニツヅク也トカク、而ノ字ハ何處ニアリテモ兼上意アルト心得ベシ○又モシト訓ス、富而可求也コレヲ富而ト訓ズルハ善ラス、昔ハ而字ト如字ト通用スレバナリ、又語ノ終ニアリ○

唐楙之華偏其反而○今之擬
 政者殆而ト去類ハ歌詠ノ助
 聲ニテ音律ノヒツキニ入ル
 字ナレバ常トハ各別ナリ又
 然而旱乾冰溢トツツク時ハ
 サフシテカラト去一也
 也ナリト訓スル寸ハ○ジヤ
 ト譯ス柳宗元カ説ニハ決定
 之辞ト去ヘリ○大塔宮者帝
 第三子護良也ノ類マク也字
 ガ中間ニアル時ハ助語ニナ
 ル也○賜也爾愛其羊○夫子
 至於是邦也必聞其政ト去類
 多シ○皆皆辞ヲスエル意ニ
 ナル也マク舜其大孝也與○
 可謂好學也記ノ類又京華也
 者○樂也者ノ類○皆辞ヲス
 エテ去ハン為ナリ又物ヲイ
 ヒタツル間ニハサム一アリ
 ○某也忠某也詐○非幸也直

也○其躍也或激之其趨也或
 極之ノ類多シ
 乎歎息之辞ト疑ノ辞ト兩義
 也○鬼神之為德其盛矣對ト
 去ハ歎息ノ辞也マク中間ニ
 ハサム時モ歎息ノ意ヲ含ム
 也タトヘバ○浴乎沂風乎舞
 雩又○同乎流俗合乎汙世ノ
 類○于字ヲツカヒソフナ所
 へ乎ノ字ヲ置ハ歎意ヲ含テ
 詞ニニベノツク意也○沂ヤ
 ナドニ浴シ舞雩ヤナドニ游
 テト云氣味アリ又疑ノ辞ノ
 時ハ○無寧死於二三子之手
 乎○禮後乎ノ類兎カク疑フ
 中ニモ歎意ヲ兼ル也又反語
 ニ用ユ○安有強如平宗而不
 召乎トウシテ召サヌコトガ
 アラフゾ召スベシト○豈武
 臣所為乎トウシテ為ス所デ

アラフゾ為ス所デハナイト
 皆ウラヘ反ル詞ナリ○惜乎
 ○宜乎ハ歎息ノ詞ナリ又○
 財用於是乎出○宋文鑑皇風
 於是乎清夷ト去類皆辞ニニ
 ベヲ付タルナリ
 於中間ニハサム字也○敏於
 事而慎於言○安置於太子燕
 帖古忠於高麗○季氏旅於泰
 山○不負戴於道路ノ類多シ
 詞ニユトリノアル時ニ必ス
 置ク字也タトヘバ○旅於泰
 山ト去ハ旅スルヲ泰山ニ於
 テスト去ト也何處ニアリテ
 モ此格ニハヅル、トナシ○
 慎於言ト去ニハ於字アリ慎
 獨ト去ニハ於字ナキ也ユト
 リノアルトサシツケテ去ト
 ノチガヒ也加様ノトニテ分
 別シテ知ベシ又○ヨリトヨ

ムトアリ○存乎人者莫良於
 眸子○霜葉紅於二月花ノ類
 也

與カ歟カ共ニ疑ノ辞ト問ノ
 辞ニシテ輕シ○求之與杯與
 之與○可使從政也與ノ類ナ
 リ

耶カ邪字ト通用フ○疑ノ辞
 也邪ヲヨコシマト訓ズルユ
 ヘニ詰リ問フ時ニ用ユ○韓
 文其真無馬耶其真不識馬耶
 ト云トキハ、シラフヤ、シリハ
 セマイト詰リ問フナリ○雲
 耶山吳耶越ト云フ時ハ是問
 ノ辞ナリ

于ニ中間ニアルトキハ、サシ
 ツケテ言フ詞ニナル也於字
 ヲ置ベキ處ニ用ヒ来レリ、盧
 允武が説ニモ於字ヨリハ意
 輕シト云リ○志于榮○將歸

臨集ト云類多シ又○執毫於
通一齊ト云又執毫于通一齊
トモ書來レリ詞ニヨルト心
得シシ易經詩經春秋ナドニ
ハカタヒシニ于ノ字ヲ用タ
リ見合セテ知ベシ

諸中間ニアルトキハ於字ノ
アリソフナ處ニ用來レリ盧
允武ガ説ニハ之字ト同意ニ
云ヘリ於之ノ二字ノ代リニ
諸字ヲ用ユト知ルベシ○子
張書諸紳ト云又書於之紳ト
云モ異ナラズ○吾カ猶能肆
諸市朝ノ類又句ノ終ニアル
時ハ皆疑ノ辞ニナル也○山
川其舍諸○子路問隰斯行諸
○冠至猛去諸ノ類ハ字書ニ
審問而未的然之辞ト註セリ
夫ソレソレト訓スルトキハ發
端之辞也○カノト訓ズルト

キハ有所指之辞也○カト訓
ズルトキハ疑辞也○夫仁者
○夫學校之設ト云類ハ發端
之辞也○小子何莫學夫詩○
夫二三子也ノ類ハ物ヲサシ
テ言フ辞也○吾知免夫小子
○亦可以弗畔矣夫○鳳鳥不
至河不出圖吾已矣夫ノ類ハ
疑ヒノ辞ナリ○吾已矣夫ト
讀ムハ誤リナリカナト云ヘ
バ歎息ノ辞ニナレバナリ

之盧氏ガ助語辞ニ之指辞也
ト註セリ物ヲ指シテ言フ字
ナリ○聖人之言○寡人之身
ノ類○懸在其為民父母ト云
トキハ民之父母ト之字ヲ入
ベキ處ナレ氏之字ナクテキ
コユルユヘニ不入也詩經ニ
民之父母ト之字ヲ加タルハ
字數ノタメナリ此類太ダ多

シ○道之以政○由誨女知之
 乎ノ類皆物ヲ指シテ云ナリ
 爾ノミト訓スルハ和辨類
 ニ出タリ○シカリトヨム時
 アリ云爾ト云ハ、サフイフ、カ
 ヨウニ云フト云フ也○女得
 以馬爾乎ト云フ寸ハ、人ヲ得
 ル、サフアルカト云フナ
 リ○而已馬爾ト四字ツミケ
 テ助語ニ用ルアリ、サフス
 ルバカリデコソアレト云フ
 也○爾乃ト云フハ、サフレテ、
 ソノウヘ、サフシテソコデナ
 ド、詞ヲ改メタル所也○卓
 爾恍爾ト云ハ、卓如恍如ト云
 フ意ナリ

者説文ニ別事詞ト註セリ○
 コレハ、ソレハ、ト物ヲ指シテ
 別ツ辞ナリ○孝弟也者○樂
 也者ノ類○危者愈危微者愈
 微○三聖者○儒者ト云テモ、
 者ト云字二人ト云フ意ハ、毛
 頭ナキ也○虎者獸之中猛者
 也トアルヲ見テ知ヘシ○和
 辨テト云詞ニアタル也○行
 者學者ト云ハ、ヲコナヒテ、マ
 ナビテト云フ也我朝ノ天
 子論言ノ文ヲ矚ルニ、浮屠ノ
 輩ハハ○宜奉祈室祚延長者
 依天氣執達如件ト云フニ者
 ノ字ヲ、テイレバト訓スル
 毛、室祚ヲ祈テイレバト云フ
 也

分辯類

同訓ニシテ用ル所ノ
 區別アル者ヲ辨ス

言イヒグント云意ノ時用
 ベシ○聖人之言○餘力猶言
 暇日ノ類ナリ

道イフ字意言字ト同シ○便道

性善ノ類○善字へ云字ヲ添テ見ルベシ

曰イフイヒヤウト云意ノ時用ベシ○孔子曰○漢書曰○曰是武門耳○王何必曰利ノ類初學ノ時ハ謂ト言ト曰トマギレヤスキ也場所ヲ吟味シテ用ユベシ

謂イハレト云意ノ時ニ用ユ又ワケト云意トヲモロクト云意トヲ含メリ○ヲモワクトハ心ニ思ヒ云フナリ

○論語註ニ○彼謂衆人仁謂仁者○子謂仲弓ト云フ時ハ陰ニテ仲弓ガワケヲ仰セラ

ル也○豈謂一鈞金與一輿羽之謂哉ノ類○所謂ト云フモイワレヲイフ所ト云フ○其斯之謂與○豈半百姓之謂我愛○人皆謂我毀明堂ノ類

ハ心ニ思ヒ云フ意也○意謂相謂曰等ノ類ヲ見テ心得

云イヒカタト云意カフクイフト云フ意ノ時用ヘシ○子云○詩云○云何ハカフク云フハナントシタト問フ

辞也○云云カフクシタト云フ也

安イヅク悪イヅク馬イヅク皆同意ナリ○ドウシテナニトテト

譯セリ問フ辞ニ非ストカメル辞ナリ○安見方六七十如五六十年而排地也○安求其能千里也又○焉用佞ナニトテ佞ヲ用ヤウヅ用ヒハセヌ

○孟子ニ憑在其為民父母○天下憑乎定ノ類皆々問フ辞ニ非ズ疑ヒノ辞ナリ

孰タレカドレガト云詞ナリ○

孰不可忍也ドレジヤトテ忍
ハズニハ居ヌ○孰能禦之乎
ノ類ナリ

争テイカイカニシテモト云詞ナ
リ、アラソフ意ヲ含メリ○唐
詩ニ解知天上無人住

太タ和辨類ニ解アリ○キヤ
ウサシニ譯ス○太多ノ類

酷ク孔コ並ニ甚ノ字ト
同意ナリ

絶セツスグレタ意ノ時用ユ、甚
字ト同カラズ

評ヒヤク議ギ謀ボウ畫カク圖ト謀ボウ
量リヤク計ケイ商ショウ策サツ畧リヤク揆ケイ

已上十二字ハ心ノ上ニテ、ハ
カル時用ヘシ、フンベツ、ダン
カウノ意ナリ

虞ヨ上ニ同シ○有ユ不フ虞ヨ之シ譽
ト云フ註ニ虞ヨ也トアリ

揣テウ物ニ對シテ、ハカル時用

ベシ、字書ニ度タク高下、曰、揣ト註
ス○孟子ニ不フ揣テウ其本

度タク長短ヲハカル時ニ用ユ、
度字ハ俗ニ用ル、モノサシノ

丁也○度量ト云モ、胸中ノ長
短ヲハカル丁也

料リヤウ外目ヲ、ハカル意也、心ニ
ハカルトモ、物ニ對シテ、ハカ

ル時ニ用ベシ

測ソク測海ノ類、淺深多少ヲ、ハ
カリ知ル時ニ用ベシ○字書

ニ計也ト註セリ○神妙不測
○測量ノ類是ナリ

肇ショウ始ノ字ト同意ナリ

創ソウイツチハジマリノ意ニ
用ユ○字書ニ始造也ト註ス、

○創業○革創ナドノ意ニ用
ユベシ

取ク此方ニ物ヲトル意○取
於人○取捨○取彼而與此ノ

ノ類ナリ

執ト手ニトリテモツ意ノ時

用ベシ○執ル○執ル鞭ノ類又

執中ト云ハ、理ノ上ノヤウナ

レドモ、根ハ物ノマンナカラ

トル意ナリ

把ト字書ニ把握也ト註セリ、

俗ニ一把ト云一モ、一握アル

エヘ也○把杯把酒ノ類

捉トトツテクル意也○程子

遺書ニ把捉トツツケリ、把ノ

場ヘモ捉ノ場ヘモ通用セリ、

○擲疑○捉一箇誠將來ノ類

也

撮トツマミトル意也○撮其

勝ル

秉ト手ニテトル也、字書ニ執

也註ス○秉燭○秉彗ノ類是

非トモ、トラネバカナ、ハ又時

ニ用ル字也

撮トタシクトル意也○禮

記ニ撮几杖○撮斧○撮危ノ

類ナリ

攬ト手ニテ物ヲトル也○離

騷經タ攬中洲之宿奔ノ類

奉トマキトル意也○奉社若

資ト相手カラウケトル意也

○禮記ニ資於事父以事母而

愛同ト云註ニ、資猶取也トア

リ

採トトリヒロフ意也○采ト

同シ○采撫典故○采而輯之

ノ類○採草木ニモ用ユ

止トトマリ、スワツテ居ル

意也

留トトマツテ間ノアル意

二用ヘシ○杜詩ニ留客復嶂

青琅玕ノ類

停トヤメル意ナリ○字書ニ

行中止也ト註セリ○停五月

節○停止ノ類

厄ニヲチツイラトミマル意

○字書ニ止也、定也トアリ○

孟子ニ止ニ或厄之ノ類

駐マ馬ヲトミム、舟ヲトミム

ノ類

禦マフセギトミムル意○有

禦人於國門之外者ノ類也

弭マ此ガヨリトミメテヤメ

サスル意ニ用ベシ○侍漏院

記ニ兵革味息何以停之ノ類

宿マ一夜ホドトミムル意ニ

用ユ○君言不宿於家ノ類

息マヒトリデニトミマル意

ニ用ユベシ

遇マニトミマル意ニ用ベ

シ、遇マノ類

贈マ貽マ並ニ同シ○人ニ音

物ヲツカハス、又ハ詩文ヲヤ

ルニモ用ユ○作師說以貽之

ノ類

送マ旅立人ヲ、ヲクルニ用ユ、

又音物ヲ旅立人ニ、ツカハス

モ送マト云フ

詔マコトヅテナドイヒヲク

ル意ニ用ベシ

饋マ食物ヲ人ニヲクル時ニ

用ベシ、中饋ノ意ナリ○先弱

饋食ノ類

遺マ餽マ並ニ同シ、ヲクリモ

ノト訓ス、音物又ハ使ナドヲ、

人ニヲクリツカハス時ニ用

ヘシ○孟子ニ湯使遺之牛羊

○辞曰、餽マ此類ナリ

及マ遠マ皆及字ノ

意ナリ○字書ニ及至也トア

リ、ソレマデユキツク意也

暨マ爾雅ノ註ニ、不得及之意

トアリ、ヲヨビニクイ意也、ス

コシヲヨブ意ノ時ニ用ユベ

シ
 覃アヲ及字ト大畧同シ、サリナ
 ガラ、コノ字ハ、ユトリノアル
 意アリ、ヲヨブウチニモ、遠カ
 ラ及ブ意アリ
 治ムサヲサムト、ヲサマルト、平
 仄ノ違ヒアリ ○治天下 ○天
 下治ノ類、治ルト讀デハ、自然
 ニヲサマルナリ
 御ムサ理ムサ登ムサ 槩ネ治字ト同
 シ ○御字ハ天子ノ字内ヲ、ヲ
 サムル也 ○登字ト理字ハ大
 ニ同シ ○請修德以登之ノ類
 ナリ
 脩ムサ 一作修 ○脩理也ト註ス、
 総テ物ヲ作為スルナリ ○
 修書 ○修理官舎 ○修身ノ類
 収ムサ トリチラケタル物ヲ、ト
 リヲサムル意也 ○收其田 ○
 收其類

歛ムサ 収字ト同意ナリ、収歛ト
 ツゞイテ、年貢ヲトリコミシ
 マフ意也
 戢ムサ 歛字ト同意也 ○戢其左
 翼
 攝ムサ 字書ニ攝收也トアリ
 納ムサ ヲサムルトヨム註ハ字
 書ニ不見、年ル、トヨム字也
 ○納所納米ミナ、年ル、ト云
 意也
 易ムサ トクトトリヲサムル意
 也 ○易其田ノ類
 思ムサ 氣ヲツケテ思フ意也、タ
 フシタヒ、カフシタヒト、ヲモ
 フ意ニ用ユベシ
 憶ムサ 心ニトヤカクト思フ意
 ナリ、憶兄弟ノ類
 念ムサ 顧ムサ 並ニ同意也、不断ニ、
 モノヲ思フ意ノ時用ヘシ ○
 字書ニ不怠也、又常思也ト註

セリ

想フモヲモヒヤル意ノ時用ベ

シ○字書ニ冀思也ト註セリ

○想像又○想夫ハ戀ノ意ナ

リ

懷フモ心ニヲモヒヲ含デキル

意ニ用ベシ、毛傳ニ懷私曰懷

ト註ス○凝目、興懷○興懷○

述懷ノ類

別ワカル兩方ヲ、ベツクニスル

意也○所以別野人○離別ノ

類ナリ

分ワカ多クアル中ヲ幾箇ニモ

ワケル意ニ用ベシ○孤分○

職分○夜分等ノ類

剖ワカ判ワカ兩字モ二分字ト同

意也、道理ノニツニワカル、

意ニ用ユ○天地剖判トツバ

ケリ○裁判ノ類

決ワカ事ヲサバキ、ワケル意ノ

時用ベシ、判字ト意同シ

訣ワカ死別ノ時ニ用生別ニテ

モ、永ク別ル、意ニ用ユベシ

析ワカ物ノ散ワカル、意也○

厥民析ト云註ニ紛散也トア

リ

纒ワカ才ワカ財ワカ並ニ同意ナリ、

大分ノ中ニ、ワツカアルト云

意ニ用ユ○年纒十三○纒少

意、於防嚴ノ類ナリ

僅ワカスコシナル意ノ時用ベ

シ、字書ニ少也ト註ス○僅出

於其門人所記是ナリ

歸ルカ我家ヘモドル意ノ時用

ヘシ○歸與歸與○請歸而

造於朝等ノ類

回ルカユキタリキタリスル意

ニ用ユベシ

反ルカワリガヘリニ飯ル意也

○孟子ニ反齊滕路○從流下

而危反ノ類、ヒツカヘシテモ
ドル意也

返ルル 中途カラヒツカヘシテ
モドル意ノ時用ヘシ

還ルル 返字ト畧同ジケレ正物
ヲ人ニ還ス寸ハ必ス此字ヲ

用ユ○家祿奉還○買攢還珠
還于舊都此類ナリ

却ル 一作却レ○還字ヲカヘツ
テト讀ム寸ハ同意ニナルナ

リ、サヘギツテ思フ意也○却
疑春色在隣家○孟子還可謂

聖人否此類ナリ

代ル 人トナリカハル意也○
孟子ニ暴君代作○如日月之

代明ノ類ナリ

替ル 代字ト畧同シ、甲ト乙ト
シカヘル意ノ時用ユベシ○

遷替ノ類

更ル アラタマリカハル意也

○更ル 衣ラ○更ル 名ラノ類又○カハ
ルトトヨメバ、代字ノ意ト同

シ

通ル アチモ、コチモ、カハル意
ノ時二用ヘシ

變ル 渝ル 易ル 皆同意ナリ、ウ
ツリカハル意ニ用ベシ○變

易ル○變改ノ類○舍命不渝ノ
類○不易之謂庸○萬古不易

ノ類皆變ジカハルナリ

換ル 物ヲトリカヘル意也○
以金貂換酒○三公不換此江

山ノ類

考ル 攷ル 按ル 校ル 勘ル 槩略
同意ナリ○カンカヘシラブ
ル也○以其時考之則可矣○
按詩經ノ類也、獨リ人物ニ對
シテカンカフル時ハ校字ヲ
用ユ○賈逵拜為郎與班固並
校秘書ノ類是也

重ナカサナル草木器物言理等ノカサ
ナルニ用ベシ

累ナカサナル歲月日時ノカサナルニ
用ベシ○雖ヒト日累ヒト千萬人○殊

輪累ヒト輻ヒト類

復ナカサナルカサネクノ意也○復ヒト出

又ヒト衣ヒトナド幾重モカサヌル意

ニ用ベシ

勝カサマサルト訓ジテ勝負ア

ル意ノ時用ベシ

克カサ自身ニ心ニカツ意ナリ

○克カサ已カサ克カサ私カサノ類

贏カサカ金銀ヲモフケル意也○

唐詩ニ如カサ今カサ贏カサ得カサ將カサ衰老ノ類

剋カサカ五行相剋ノ類

兼カサ攝カサハ並ニ同意也カネア

ハスル意ナリ○周公兼夷狄

○兼勤○兼官○兼日ノ類ナ

該カサナル十アル物ヲ十ナガラカ

ヌル意ノ時ニ用ヘシ○該カサ涉カサ

古今ノ類槩略兼字ト同シ

懸カサル遠クヤ高クニ物ノカ、

リテアル意也○懸カサ河○倒懸

○懸カサ軍カサ夷カサ域カサノ類是ナリ

嬰カサルカサ絆カサルト譯ス○ウゴキ

ノトレヌ、字書ニ繫也ト註

ス○嬰カサ疾病○荀子カサ處カサ女カサ嬰カサ室

珠カサノ類

罹カサルアミニカ、ル意也○罹

災カサノ類

掛カサルカサ挂カサカ皆同意ナリ○説文

ニ懸也トアリ、鉤カサナトニテ、物

ヲカケテトル、又鉤カサニ物ヲカ

ケル意ノ時用ユ

係カサルカサ繫カサル通用ス、心ニカ、ル

身ニカ、ル意ノ時用ユ○感

慨カサ係カサ之カサ矣ノ類

因カサ見カサヨリシタシム○ヨリツ

クノ意ノ時用ベシ、チナムト

ヨム故ナリ、字書ニ〇因親也

ト註ス〇殷因於夏禮〇時子

因陳子以告孟子此類ナリ

寄見人ニタヨル意ナリ〇寄

宿ノ類又ヨスルトヨムトキ

ハ人ニ打任スル意也〇可寄

百里之命又〇詩途十斤〇寄

李白〇寄附等ノ類ナリ

倚見凭見憑見皆同意ナリ〇

ヨリソスモタレカ、ルノ意

ナリ詩文ニ多ク用ユ〇倚門

〇倚欄干〇憑几而卧ノ類是

ナリ

據見ヨリマモル意ナリ〇據

國〇據邑ノ類〇字書據拒守

也ト註セリ、俗ニイフ、ニギツ

タモノヲハナサヌ様ニスル

意也

道見由見並ニ同シ〇ヨリモ

トツク意ナリ〇道問學〇居

仁由義又ヨリト訓ス〇風道

止来〇所由起〇由来ノ類

字ヲ由字ノ場ヘツカフテ同

異ナル一無シ

依見ツクト云ノ意也〇東坡

ニ不依形而立〇依吾語依舊

ノ類

頼見タノミヨル意ナリ〇依

頼〇頼其言ノ類也

藉見繇見並ニ同意ナリ、ヒト

トコロヘヨル意也〇枕藉ト

ツツケリ

伏見ヨリソフ意ナリ〇伏大

節ノ類

歸見ヨチツキヨルマトマル

意ナリ〇歸一〇新羅人歸北

ノ類

仍見事ニヨリツク意ナリ〇

仍舊貫如之何ト云註ニ仍因

也トアリ〇仍如件ト云モ、右

ノ事ニヨツテト云一也

讀ヨム書ニ向テヨムナリ

誦ヨム書ヲハナレテ空ニテヨ

ムナリ

自ヨリドコカラト云辨ニアタ

ル也○即楚之滕○自是以來

ノ類

從ヨリカラト譯ス○從前即チ

從フ意ナリ然レモ○ヨリト

讀ム註ハ字書ニナシ

止々唯祇只皆同訓同意ニシ

テ、バカリト云辨ニアタル也

○閨中織獨看○唯女子與小

人為難養ノ類ヒトリト讀モ

同意也祇今只今唯今皆同ジ

但々第々並ニ同シ○カリニ

イフ氣味ニテウチツカヌ意

也○山成而祖必一讀○第言

之ノ類

徒々ムナシキ意也○徒善徒

法ノ如キ其名ノミ聞ヘテ其
實ナキナリ

帝々翅々古字通用ス○但字

ト同意ナリ○奚翅食重ノ類

借使借令試使設使

籍令假令假如假饒

向使縱然假設辭也

タトヒトヨマスル字數多ア

レモ大槩此意ニタカハズ

添下地ニ物ノアルウヘニ

物ヲソヘ加ル意ナリ

傍邊並ニ同シ物ニツキ

ソフ意ナリ○穠花過前

川ノ類

副事ヲタスケソヘル意ニ

用ユ○爾雅註疏ニ副者次長

之稱トイヘリ

戴ソヒモノト訓ス野菜ナ

トヲ膳ニソヘテ食ノ一也又

事ヲタスケソヘル意ナリ

作文助

付ツキ人ニ物ヲアタヘサツク
ル意ナリ○付ツキ屬○附ツキ託ノ類
ナリ

附ツキ物ノ側ニツケル意○附ツキ
於諸侯曰附庸ノ類

託ツキ多ウチマカセル也○可ツキ
託六尺之孤○託ツキ其妻子於其
友ノ類

就ツキ多人ノ側ヘヨリツク意ナ
リ○如ツキ就見者也ノ類

著ツキ多服多並ニ同意ナリ物ノ
ヒツタリトツク意也○著ツキ衣
○著ツキ地ノ類

即ツキ多ソレニツイテト云意ノ
時用ユ○即ツキ貨財ノ類

麗ツキ多脚ヲアケテツク意ニ用
ユ○草木麗地○日麗天ノ類

盡ツキ多罄ツキ多共ニ同意ナアル物
ガ十ナガラ皆ニナル意ナリ
竭ツキ多殫ツキ多共ニ同意也○精力

心意ヲツクスニ用○竭ツキ目カ
○竭ツキ耳カノ類

遂ツキニ肆ツキ多共ニ同シドフデモ
ト云フ辨ニアタルツイニト

讀デモトゲルト云意ヲフク
メリ○遂ツキ成其書○聞王命而

遂ツキ不果○遂ツキ去ノ類ナリ

卒ツキニソノマ、ト云意也卒ツキ爾
ノ意ヲ含ノリ○卒ツキ之東郭墻

間之祭者ノ類是也

竟ツキニアゲクト云辞ニアタル
也○竟ツキ寄死人家ノ類

何ツキニ奚ツキ多並ニ同シ○ナント
ト、ガメタル詞也○何ツキ知ツキ○

奚ツキ為ツキ○奚ツキ暇ツキ禮義哉ノ類ヲ
ホシ

胡ツキニ曷ツキ多並ニ同意ナリナセ
ニトトガメタル詞ナリ○胡ツキ

禁ツキ不ツキ止ツキ毋ツキ令ツキ不行ツキノ類
那ツキナニトシテト云意也○
十七

那知今夜長生殿ト云トキハ、
長生殿ノ魁ハツルヲマヘカ
ドヨリナニトシテシラウヅ
ト也。

詎ツナシ 那字ニ略同シ、字書ニ
知詞也ト註ス

底ナシナニホドノコトカアラ
ント、ヒクメテ云、詞也○底物
○底事ノ類

無ナシ 因ナシ 靡ナシ 並ニ同意ナリ、
理ノ上ニテモ物ノ上ニテモ
用ユ、獨リ無字ハ有字ニ對ス、
因字ハ無字ノツカハレヌ所
ニ用ユ○詭人因極 詩經ニ
靡不有ノ類

莫ナシ 無字ノ意トハ違ヘリ、
ニ對スル心ノ少クモナキ時ニ
用ル也、譬ハ○莫知、
大乎與人為善○莫怪、
酒家アヤシムナト云テ、下知

ノ辞ニナル也

亡ナシ 根カラ物ノウセホロビ
テ、ナイ意ニ用ヘシ○今也則
亡ト云フ註ニ、亡與無同トア

リ然レモ無字ヨリ字意重シ
未ナシ 朱子ノ註ニ未無也トア
レモ、無ノ字ヨリ意ツヨシナ
クナツタト云、意ニ用ヘシ
持如之何而已ノ類

微セナカッ 字書ニ無也、非也ト註
セリ○微管仲ノ類○一人ニ
カキリテ云也

勿レカ 母レカ 二字モニ禁止ノ辞
ナリ
見えサシアタリタル、當座ノ
意ニ用ベシ○益成括見殺ノ
類ナリ

所エソフセラレテ、シマフタ
ト云意ニ用ベシ○為石勒所
殺○為大臣所非ノ類

ト兩義ナリ、アイシラフ意ハ、
 タイシテト彭ニテヨムベシ
 ○衛君待字而為政是ナリ○
 待末年然後已是人ヲ俟義也
 俟多ハマツ意バカリニ用
 ヌ○俟後之君子ノ類
 殊ニトカクベツナル意ナリ
 雖世殊事異ノ類
 特ニトスグレタル意ナリ、殊字
 ト略同シ
 異ニトチガフタト云意ナリ○
 撰綱○奇異怪異○何以異於
 人哉ノ類ナリ
 誠ト苟ト並ニ同シ、シンヅツ
 ニシテ、チガイナキ意也○誠
 誠是言○豈不誠大丈夫哉○
 苟志於仁則無惡矣ノ類是也
 固トマコト、詔ジテモ、モト
 ヨリト云フ意也○仁者固如
 此乎○弱固不可以敵強ノ類

○字書ニ本然之辞ト註ス○
 マコト、詔ズル註ハ字書ニ
 見ヘズ

實トアリヤウト云意也

眞ト偽ニ對スル字ナリ○眞

偽○其眞無馬耶ノ類也

信トシンヅツノ意也○信可

樂也ノ類

諒ト亮ト並ニ同シ、マコトノ

中ニモ、道理ニアタラズニ、メ

ツタニ、マコトニスル意ナリ

○君子貞而不諒○匹夫匹婦

之為諒ノ類ウチ、ツカヌマコ

ト也

亶ト允ト皆誠字ト同意也○

獨リ亶字ヲタゞト訓セリ又

○危執其中ノ類

良トゲニモト云詞ニアタル

也、カロキマコトノ意也○良

有以也ノ類

是レ此レ茲レ皆同意ナリ○
 是ノ字ハニルキカニシテ字
 意輕キ方ナリ此字ハ彼ニ對
 スル字ナルユヘニシカクト
 物ヲ指テ字意ツヨキト心得
 ベシ○如是如此如茲○此謂
 物格○是謂辨入之性ノ類然
 レドモ此篇ヲ是篇トハツカ
 ハズ所ニヨリテツカヒ別ツ
 マシ
 之レ物ヲツヨク指ス字ナリ
 ○惡聲至必反之ノ類ナリ
 斯レ此字ト同意也此字ヨリ
 ハ指トコロノ意ツヨシ○斯
 焉取斯ノ類
 爰コ句ノ頭ニ置字也○爰居
 爰處ノ類
 緊ニコ、ニレコレヨマセ
 タリ字書ニ是也維也ト註ス
 レバナリ○古文ニ緊聰我皇

ノ類助辭ニテ意輕シ

越コトニ發語辭ニシテ別ノ意

ナシ

維レ時レ伊レ侯レ以上四字

歌頌祭文墓誌誄讚等ノ助辭

ニ用ル字也四字トモニ詩經

書經ニ多出タリ

預ル干ル並ニ同意ナリ○預

參トツツイテマジハル意也

○預政○晉書于預國事○俗

ニ金銀ヲアツカルト云ハ受

取意ニアラズ金銀ヌトリカ

ハス意也

關カ、ルト譯ス○不關其

身ノ類

與カ、ヒキウケル意也○夫婦

之愚可似類ノ類

當ル直ル膺ル並ニ同シ對ク

スル意也敵當ノ當也○當路

於齊一云ハ齊ノ場中ヘユキ

アタル意也○文王何可當ト云ハ、文王ノ子ハ、
レヌト云フト也○寒夜客来、
縁當酒、アツト讀セル寸ハ、
字ニナルナリ

中々當字ト各別ニ六、
中スル意也○雖不中、
而亦速○中酒ノ類

丁ル當字ト同意ナレ、
丁字ニハ、タイクスル意ハ少モトシ、
サシアタル意也○訂、
俗ニ云フ辭ノアタルト云フニハ、
中ノ字也、東ニアタル、
乾ニアタルト云ニハ、
當ノ字也、心ニ思ヒアタルト云ニハ、
丁ノ字ナリ

在アリスワツテアル意也○富貴在、
天○祿在其中ノ類有字トハ、
意違リ○イマスト讀テモ同意也○
如神在○有父兄

在ノ類、辨在スル意也

或アラフナラバト、
豫ジメ

云フ意也、字書ニ味定之辭ト

註セリ○或繼周者○アルイハ○アルヒト○モシクハノ

類皆未定之辭ナリ、
聞キ大體トホリ、
サラリト

キク意也○聞道○聞斯行等ノ類ナリ

聽キ聆キ並ニ同シ、
キトシケル意也、
故ニユルスト訓ズ

○聽其言、
而信其行ノ類

可キウケガフト云、
意ノ時用

ヘシ、
聽字ニ略同シ○說文ニ

肯也ト註セリ○許何○晏嬰

不、
類ナリ

行テ、
アユクユク意ノ時用

ベシ、
之テ、
エリワリユク意ニ用ベ

シ○不、
堯之子、
而之舜○有

アタル意也○文王何可當ト

云ハ文王トタイクニハイハ

レヌト云フ也○寒夜客来

録當酒アツト讀セル寸ハ反

字ニナルナリ

中々當字ト各別ニ六的中ス

ル意也○雖不中而不速○中

酒ノ類

丁ル當字ト同意ナレ氏丁字

ニハタイクスル意ハ少モナ

シサシアタル意也○訂校擾

ノ類俗ニ云フ辭ノアタルト

云フニハ中ノ字也東ニアタ

ル乾ニアタルト云ニハ當ノ

字也心ニ思ヒアタルト云ニ

ハ丁ノ字ナリ

在アリスワツテアル意也○富

貴在天○祿在其中ノ類有字

トハ意違リ○イマスト讀テ

モ同意也○如神在○有父兄

在ノ類滞在スル意也

或アラフナラバト豫ジメ

云フ意也字書ニ味定之辭ト

註セリ○或繼周者○アルイ

ハ○アルヒト○モシクハノ

類皆未定之辭ナリ

聞キ大体一トホリサラリト

キク意也○聞道○聞斯行等

ノ類ナリ

聽キ聆キ並ニ同シキトトジ

ケル意也故ニユルスト訓ズ

○聽其言而信其行ノ類

可キウケガフト云意ノ時用

ヘシ聽字ニ略同シ○説文ニ

肯也ト註セリ○許可○晏嬰

深可ノ類ナリ

行テアユクエク意ノ時用エ

ベシ

之テエリワリユク意ニ用ベ

シ○不之堯之子而之舜○有

司味知所遊之ノ類

往ヲ徂ヲ如ヲ並ニ同意ナリ

○徂字ハ徂來トソツクエハ

ニ、ユイタリ、キタリスル意也

○孟子ニ徂應之曰ト云ハ今

一カハリユイテ返答ヲセヨ

ト云一也

適ヲ我心ニホツゴシテ、ユ

カント思フ意ノ時可用○又

去適陳ノ類

遊ヲユイテ再ヒカハラ又意

ニ可用○遊者如是乎○遊去

ノ類是也

邁ヲ遠ク行、意ノ時用ベシ

見ルチヨツト見ル意ナリ、又

○會フ一ニモナル○孟子現

梁惠王ノ類

覽ル一遍サラリト見ル意也

○博覽ノ類ナリ

視ル見トバケル意也○疾君

視之○視天下悦而歸己○君

之視臣如手足ノ類是也

看ル手ヲカザシテ見ル意也

觀ルツドクニ、ノコラス念ヲ

入テ見ル意也○吾何以觀之

哉○觀海○觀水○觀瀾ノ類

○大觀○壯觀トツマケテミ

モノト訓ズ、物ヲ一見物ス

ル一也

觀人ト互ニ相逢ニ見ル意

也○詩經ニ觀既多

觀ルカリソメニ見ル意也○私

觀愉愉如ノ類○觀面ハ、マノ

アタリト訓ス

矚ルキツト見ル意也字書ニ

視之甚也ト註ス

觀ル下タル人ヨリ上タル人

ヲ見ル意○朝觀ノ類

睭ルアヲギミルト訓ス、目ヲ

ムケテ見ル克○睭野ノ類

作文助

觀ミル見字ト同意ニテ少重シ

○觀青天○觀者如堵牆ノ類

睨ミルシリノニカケル意也○

義平臨刑仰首睨ミル平氏第○匠

石邊ミル之不睨ノ類

瞰ミルフシミルルナリ○嘗同登

比叡山ニ俯瞰皇城ノ類

瞻ミル一見テトホル意也字

書ニ歷觀也ト註セリ書ナド

ヲ考見ルニ可用

閱ミルキヲトメテ見ル意ニ用

ユ○閱車馬○閱書ノ類

瞻ミルノヅミ見ル意ニ用ユ○

尊瞻視○瞻望父母ノ類

觀ミル見トゞケル意也字書ニ

視也ト註ス

妄ミルノツタムセウノ意也○

狡信○狡語ノ類

護ミルタハブレ、タハケテスル

意ナリ、字書ニ誑言ト註ス○

護ミルト云ハタハフレニ興ヲ

催ス也

猥ミルカルクシキ意也字書ニ

苟也ト註セリ○出帥表ニ猥

自ミル強スノ類

從ミル自然ニシタガフ意也○

侍從○從事○牛羊又從而牧

之ノ類

隨ミル心ヲ用テシタガフ意也

○亡其父隨母流落ノ類

順ミル率ミル並ニ同意ナリ道理

ニシタガフ意也○順理○歸

順○順天者存ノ類

徇ミル一作徇同字也字書ニ從

物曰徇ト註スムリニシタガ

フ意也○徇利○徇欲○徇惡

ノ類ナリ

殉ミル字書ニ以人從死曰殉ト

註セリ○殉死○以身殉道以

道殉身ト云時ハ道ト身ト死

スルマデシタガハル意

沿カシタガフ_レト_レソフ_レト訓ス

ツキシタガフ意ナリ○沿流

○沿字○沿_レ輝_ルノ類ナリ

頻_レ進_ルノ類

荐_レシキ_ルツバ_レイ_テト云心ニ可用

○災青_レ至_ル○荐_レ頻_レ略同シ

累_レシキ_ルカサ_レネ_クノ意也○螺_レ年

○螺_レ召_レ不起_ルノ類

連_レシキ_ルシキ_リト訓シテモツラ

ナリツヅク意ナリ、連戦皆捷

ノ類

暫_レス_ルコ_シノ間ノ意也

姑_レ且_レ苟_レ並_ニ同意也、チ

ツトノマノ一也○姑_レ舍_レ女_レ所

學_レノ類ナリ姑_レ且_レ苟_レ且_レトツヅ

クナリ

少_レ上_ニ同シ○少_レ馬_レノ類也

引_レヒキヨセル意ニ可用○

曳_レヒキズル意ニ可用○

甲_レ曳_レ其_レ而_レ徒_ルノ類

牽_レヒイテユク意也○牽_レ牛

○牽_レ線_ノ類○牽_レ繩_ノ類○説文ニ

引_レ而_レ能_ル曰_レ牽_ト註ス

摟_レヒキトル意ナリ○孟子

ニ摟_レ其_レ夷_子則_レ得_レ妻_ヲ○摟_レ諸_レ侯

以_レ伐_レ諸_レ侯_ノ類

惹_レヒキツケル意也○惹_レ御

爐_レ香_ヲ○惹_レ得_レ虛_名滿_レ世_間ノ類

延_レヒ_クマ_レネ_ク意也○延_レ客_レ堂_上

○延_レ見_レノ類ナリ

援_レヒ_ク糸_ノ類ヲヒクニ多用来

レリ○思_レ援_レ弓_ヲ而_レ射_レ之_ノ類

ナリ

彎_レ弓_ヲヒクノ類ニ用ユ

板_レ字_書ニ_レ即_レ下_レ援_レ上_レ也ト註

三ノカ

三五

スヒキオロス意ナリ

挽ヒク繩ヒクヲツケテヒクニ用ユ

○挽ヒク鹿車カ○挽ヒク歌カノ類挽歌ハ

葬ノ時辨ヒクヒク者ノ唱ヒクフ聲

ナリ

拖ヒクヒツハル意也○拖ヒクト同

シ○拖ヒク紳ヒク○鄧ヒク侯ヒク拖ヒク不ヒク留ヒクノ類

揄ヒク白ヒクヒクナドニ用ユ○春ヒク

或ヒク揄ヒク○論ヒク策ヒク袂ヒク以ヒク自ヒク駢ヒクノ類

控ヒクヒキトヰム字書ニ勸馬

止ヒク目ヒク控ヒクト註セリ○控ヒク制ヒクノ類

拮ヒクウシロノ方ヒクハヒク意也

○拮ヒク裳ヒク連ヒク袂ヒク

求ヒク于ヒク覓ヒク並ヒクニ同シ○求

賢ヒク○覓ヒク婚ヒクノ類

索ヒク物ヒクヲタツネモトムル意

也○索ヒク隱ヒク○索ヒク索ヒクノ類

需ヒクホツシモトムル意也○

俟ヒク子ヒク不ヒク時ヒク之ヒク需ヒク○需ヒク予ヒク於ヒク序ヒクノ

類ナリ

微ヒクネガヒモトムル意ナリ

○微ヒク幸ヒク○微ヒク利ヒク違ヒクノ類

要ヒク理ヒクノ上ヒクニテモ是非ヒクニモ

トムル意也○要ヒク人ヒク爵ヒク○以ヒク割

烹ヒク要ヒク湯ヒクノ類

凡ヒク字書ニ大槩也ト註スオ

ヨソト訓ジテモ同シ

總ヒク數ヒク多ヒクアル物又合セツカ

ヌル意也字書ニ合也ト註ス

無ヒク處ヒクメクラツモリニ何程

アルゾト云意ノ時ニ用ユ一

作ヒク亡ヒク慮ヒク

進ヒク晋ヒク共ヒクニ同意ナリ○サ

キヘス、ム意アリス、ムス

スムルト訓ス○昇ヒク進ヒク○進ヒク稅ヒク

進ヒク飲ヒク食ヒク等ヒクノ類也

勸ヒク獎ヒク共ヒクニ同シ、何ニテモ

人ニス、メ、ハゲマス意也○

勸ヒク學ヒク○勸ヒク益ヒクノ類

前ヒクサキヘス、ミユク意也

○**彌**至人降○馬不龍ノ類○
薦^ニ鬼神ハ飲食ヲス、ムル
ニ用ユ、又○**薦**舉ハ人ヲ吹^ク舉
スルヲ云也

侑飲食ヲス、ムルバカリ
ニ用ユ

和辨類

況別^ニ並ニ同意○マシテ
ト云詞ナリ○**况**予以不賢人
之招^ク招賢人乎○**請**池^ニ旅^ル池ト
ツ、クトキハ興字ノ意也○
譬況トツツク時ハタトヘノ
意也

愈彌^ハ皆同意ニシテ、彌字
ハ意輕シ

唯イ、カツテンジヤト云詞ナ
リ、字書ニ**應**辭ト註セリ○曾
子、日彌ト○字書ニ**唯**唯ハ
應之詞トアリ

苟クイヤシ
モシ○キツト○カリ

ソメト譯ス○**苟**子^カ之^ク不^レ欲^ク雖

賞^レ之不^レ竊^クノ類○イサ、カト

讀ム時ハチツト、云一也○

字書ニ**纒**也ト註セリ○シバ

ヲクト讀ム時ハ**苟**且トツツ

イテ、カリソメノ一也又○マ

コト、讀ム○誠ナリ

聊シバシト譯ス○**苟**字ト

同意ナリ**聊**且一日之餘閑ト

云カ如シ

甚酷^ク已^ク皆同意ナリ○

キツイト譯ス○**甚**矣吾衰也

ノ類

太甚ギヤウサンナト譯ス、甚

字ト意タガハリ

果珍アンノゴトクト譯ス、字

書ニ**果**驗也ト註セリ○**果**如

其言マク○予、日**果**哉○行必

果ナト、云フ時ハ、決定之辭

ニテ、オモヒキル意也

始^ハハジマリト云^フ也^ニ終^ルノ
字^ニ對^スル也^也○^終吾^於以^ト
云^フモ後^ト云^フヲ^ハ含^ムユヘニ
今^吾於^以ト對^スル也^也○^乾元
資^始ト云^フモハジマルト云^フ
意^ナリ

初^シシヨテト譯^ス○^綱綱○
歲^初○^初陽^皆シヨテト云^フ
意^ナリ

殆^ハ幾^ハ將^ハ皆^ハ同意^也ヨホ
ド○モスコシデト云^フ辭^也
○^字書^ニ危^也○^近也^ト註^ス
○^殆有^其為^マ夕[○]殆^於不^可
トアリ、チカシト讀^テモ同意^也
也○^幾等^ノ如^シ

欲^ソソフシタイ○カフシタ
イト願^フ辭^也○^字書^ニ欲^願
也^ト註^セリ○^ノゾム意^ナリ
○^從心^所欲^不踰^矩○^乃走^欲
守^教賀^無肯^納者[○]日^欲晚^ト

云^フ時^ハ日^ガク^レソ^フナ^モ
ノト云^フ也

可^シラルト譯^ス○^體物^不

可^遺ト云^フ註^ニ可^猶所^也ト

アリ○^可飲[○]可^讀○^文義^錯

亂^不可^讀○^可也^ト云^時ハ^ダ

イ^ジナイト云^辭也[○]可^トヨ

△^時ハ○^可許^也ト註^スルユ

ヘナリ

容^マサニ^可字^ト同[○]不^容不^辨

矣^ト云^時ハ^辨ゼ^ネバ^ナラ^ヌ

ト云^フ也[○]ユ^ルシ^イル[、]意

ヲ^含メリ

應^マサニ^合マサニ^皆同意^ナリ^ハ

ツ^ト譯^ス○^應是^人參^五葉^齊
○^給用^之物^トアル^ハ用^ルハ
ツ^ノ器^ト云^フ也

長^ナコシ^鎮ナ^{コシ}皆^同意^ナリ[、]イ
ツ^マデ^モト云^フ也
恐^クオ^ハラ^コ、^ロモ^トナ^イト^譯

ス○吾恐季孫之憂不在顯也
而在蕭牆之內也オソレツ、
シム意ニアラザルナリ

故ユルガソフアルユヘ譯ス
上辞ナリ

嘗テカッ曾テカッ並ニ同意也、

モトカラト云辞ナリ○字書

ニ曾猶嘗トアリ○曾是以為

孝乎○嗚呼曾謂泰山不如林

放乎○俎豆之事則嘗聞之○

嘗ト曾ト意通スレドモ場所

ニヨリテ書別ルニアリ

且カッマア○マタ○ソノウヘ

ト云詞ナリ○備曰之辞ト註

セリ○俎爾言過矣又○句ノ

間ニ挾オハマタト云フ意ナ

リ○驕且吝○駢且角等ノ類

ナリ○ソノウヘト訓スルハ

マタト云フ意ト同シ

他タホカト譯ス○孟莊子之

孝也其他可能也○他是不謂

聖人等ノ類ナリ

諾多コ、口ヘタト譯ス○以

言詐人曰諾ト註セリ○子貢

曰諾ト

抑クサテハト云フ辞ナリ○

反語辞○發語辞○疑辞ト三

義アリ○抑與之歟ト云註ニ

反語辞トアリ○抑王起甲兵

ト云時ハ發語辞ナリ○抑致

臣聞之ト云註ニ疑辞トアリ

熟クトツクナリト云辞ナリ○

熟視○熟翫○熟讀○熟察ノ

類情字不詳

向トスカ、ルト云辞ナリ○

向暮○向七十○向死等ナリ

垂字モ同意也

猶ゴトシ由ゴトシ同意マタト云

辞ナリ○ナホ、ゴトシト兩點

ニヨム時ハオナジコトシヤ

ト云、下也。○猶、類。放失。○堯舜其猶病諸。○又兩點ノ時ハ、兄弟子猶子。○文猶質ノ類ナリ。尚ホマダト云、辞ナリ。○猶幸母ガナト云、辞也。○禁止之辞ト註セリ。○曲禮勿尔敬等ラドモト云、辞ナリ。○類也。○輩也ト註セリ。○臣等。○僕等ト言ヘバ、一人ニ非ズ、數人ヲ兼ヌレバ、則類ナリ。洋學ニハ、之ヲ復詞ト稱ス。

宜於モツトモト譯ス。○常ニモツトモト云、辞ナリ。○文章ニ尤ト書テハ、イカフト譯シテ、スグル、意ナリ。○沈物。○空哉。○宜乎ト書ケハ、モツトモナ、カナト、嘆息スル詞也。

寧吟イツソト云、詞ナリ。○樓與其奢、寧儉ノ類。

轉多ヒタモノ。○ヒタト云フ

辞ナリ。○心轉迷

耳ノ爾々同意、デコッアレト

云、辞ナリ。○語已辞ト註セリ

○直好世俗之樂、拜。○韓文ニ

是故始終言、之、拜。○迄然如塗

之人、爾記、爾ノ類

漸、若、ソ、ロ、ク。○ダンクニト云

詞ナリ。○ヒタスト訓ズルユ

へ、二次第モツテノ意也。○章

浦、薦、屢、漸、不可久。○日漸長

寢、漸ト同シ。○浸ノ字ト通

スル也。○浸、漸也ト註セリ。○

ヤ、ト訓ジテモ。○ヤウヤク

ト云モ同意ナリ

稍、ヤ、スコシ、ジ、ト云、詞也。○

出、物、有、漸、也ト註セリ、又、○小

也ト註セリ。○及、稍、長、常、使、從、

善、師、友、游。○差、字、モ、同、意、也。○

良、字、ハ、意、不、同。○良、久、瀕、久、此

類ナリ

動スレバモカリツノニモ○タヒ
ホトニト云詞ナリ○韓文ニ
動輒得答

儘マ字書ニ儘皆也ト註セリ

○儘多○儘ノ字ト通ズ

問マアイマ、アワイト云詞也

○憊亦竊附レ已意ノ類

當マサニハツト云詞ナリ○與

應字同意ナリ○當務之為急

○且モ亦同意也

將マサニモフト云詞ナリ○浦

始之辞ト註ス○李氏將レ我願

史○有鴻鵠ヲ至ノ類ナリ○

將トヨム時ハ、マタハト云詞

ナリ○將為君子焉、將為野人

焉ノ類

正ニタシカト云詞也○夜正

深○秋正深○タニシクトヨ

ム時ハ、ロクニト云フ意也○

其猶正牆面而立也與

方ニサシアタツテト云詞也

○方ニ猶レ也ト註セリ○サシ

ムカヒ○サシアタル等ノ意

也○天下ヲ以テ給レ從レ連レ衡ト云

時ハ○サシアタツテ最中ノ

意也○方破荆州ト句ノ頭ニ

在テモ同意也

設マルコシラヘテヲクト云

字書ニ施陳也ト註セリ、學校

之ニ設ルノ如シ

蓋シタスイリヤウガサダメシ

ト譯セリ○不敢決辞ト註セ

リ○三十之徒蓋莫不聞其說

○蓋シ自天降生民又○疑辞ノ

時ハサダメシト譯ス○蓋有

之我未之見也此類ナリ

試コトメスト云詞ナリ○請

嘗シ之ト云モ、嘗試トツツケ

テ二字ナガラスタメシ行フ

ナリ

如^ゴトヤウナト云^レ詞ナリ○君子^ニ交^ハ淡^ク如^ク水○不^レ如^クトヨム時ハ、シクハナシト云^フ也○似ガルト云^フ意ニナルナリ

底^ニホドト云^フ詞ナリ、字書ニ○與^レ低^ト通^スアリ○ヒクメテト云^フ詞也、又○伏^レ犧^ニ賦^ニ文王^ノ底○隋書ニ薛道衡ト云^フ人江南ニ使^シテ、人日ノ詩ヲ作りシヲ人ミナ笑^テ是^レ底^ニ言^フト云シ^テアリ

的^ニタシカナト云^フ詞也○會得^ルト云^フ時ハ、エトクシ得テタシカナト云^フ也○端的^ニト云^フモ、タシカナ^ト也

豈^アニ^ドウ^ニシ^ニテト云^フ詞ナリ○非^レ然^ク之^レ辞ト註セリ○其^レ然^ク豈^ニ然^ク乎○豈^ニ徒^ニ齊^ニ民^ノ安○豈^ニ不^レ義^ニ而^レ曾^レ子^ノ言^フ之^レト云^フ類多シ、又疑^フ辞ノ時ハ、下ニ必^ズ歟^ト字ヲ置

ク○豈^ニ以^テ古^ノ者^ノ戮^ス人社^ニ故^ニ附^ス論

其^レ說^ク歟

或^レ然^クモシモト云^フ辞ナリ、字書

ニ疑^フ辞^ニ未^レ定^ク之^レ辞ト註ス○其^レ或^レ繼^ス周^ノ春ト云^フトキハ有ノ字ヲ書ソフナ所^ニへ或^レ字ヲ書ハ、ソレモシモ周ニ繼^ス者ガアラフナラバト疑^フタ詞也

○繫^ス辞^ニ或^レ出^ス或^レ處^ニト云^フトキハ、未^レ定^ク之^レ辞ナリ○或^レ然^クト云トキハ、モシモ、サウアルカト云^フナリ

勝^テオホセル、ツクス、^レ譯^ス、字書ニ○舉^ス也ト註セリ○^レ杯^ニ河^ノ勝^ニ計^ス也、又○カヅヘツクサ^レ又トモ譯^ス

敢^テメツタニ○エシヤクナクト云^フ詞ニアタル也○儀禮ニ臣^ノ敢^テ辞ト云^フ註ニ敢^テ者^ノ辨^ス謂^フ之^レ辞トアリ○敢^テ問ト云^フモ

エシヤクモナク、メツタニ問、
意也○何敢死○曲禮ニ、不
敏辨、夷此類ナリ

恰カモテウドト譯ス、字書ニ○
適當、辞ト註セリ○恰カモ似山翁
一、句、基○宛字モ同辨也、晋書
ニ、宛若明珠之在側ノ類也

悪クヤアト云、詞ナリ、驚漢之
辞ト註セリ○惡是何言乎○
洋學ニ聞、投詞ト稱ス、言ヒス
テタル辞ナレバナリ

吁アイヤクト云、詞ナリ○吁、
疑怪之辞ト註ス○然レバイ
ヤクト云テカブリヲフル意
也○呼罵詈○韓文ニ、呼來進
ノ類ナリ

暗アドコトモナシト云、
○益其質美與此暗合也○暗
擲金錢ト遠人ノ如シ
更ニアラタメテト云、
也○

アラタマリカハル意也○更
敬、更孝○更考、經文、此類ナリ

察サギンミスルト云、
衆惡之必察焉○又、按察、使等
ノ類ナリ

然、然サウシヤ○サウアツテ、
ト云、詞ナリ○其然、豈其然乎

○然後○然○欣然○豁然ノ
類ハ、欣ノ字ノトホリ、豁ノ字
ノトホリト云意也

處スルサバクト譯ス○サバキ
行フ意ナリ○觀其所、處○處
置ノ類ハ、皆サバク意也○才

ルトヨムハ、其所ニ居ル也
○聖賢、出處トシ、ケハ、出夕
リ、處タリスルヲ云フ、分別ス

メシ
數ニサイクト云フ詞也○朋
友、數斯、疏矣ト云フハ、サイサ
イ諫レバ、カヘツテ、疎遠ニナ

ルト云フ也

屢レ前二同シ○田也其庶乎

屢レ空○數ノ字ヨリハ意變シ

○發前二同シケレレ氏間モナ

クセツクノ意ニ用ユベシ

實シアリテイト云フ詞ニア

タル也○仁之實○又マコト

ト訓ニテヨム時モ即チレ實

ノ意ナリ

誣イダマス○ウソヲツクト

譯ス○○民○君子之道焉○

誣也等ノ類

稱イヒタテルト云フ詞ニ

シテ褒ル意アリ○○其○稱○

カ○稱○其○德○○○下郷皆稱原人焉

等是ナリ

以テト云フ詞ナリ○○禮○

以テ禮○葬○之○以テ禮○不敬○

乎○以テ為○トツ○トキハ○

モハルト云意ニナル也ト

カク以ノ字ハ○承上意アリ○

以テ意也ト註セリ○物ニ心ヲ

ツケル○以テト云也○○以テ為○

トキハ○ツレテ○ヒキツフ

ト云○也○左傳ノ註ニ左

右之也トアリトモニスル意

也○○以テ為○ト類ナリ

則レ乎○ソコデト云詞也○過○

母○改○ノ類ナリ

即レ乎○ソノマト譯ストリモ

ナホサヌ○也○則ノ字ハ上

ヨリイヒツ○ケル間ニオク

○即ノ字ハ物ヲ改テイヒタ

ツル初ニ置字也○性○理也

ト云トキハトリモナオサズ

ソノマ、理ノ○ト○ヤト、サシ

ツケテ云フ辞也○詩ノ題ニ

即事ト云ハ見ヘ渡リタルソ

ノマ、ノ景ヲ云フ也○即興
○即席○即心○御佛等ノ類
是ナリ

便弁上ニ同シ、字書ニ便、即也
ト註セリ

乃弁ソコデト譯ス、字書ニ繼
事之辞ト註ス○信長乃賞清
秀以萬金○權貴人死乃復拜
侍御史此類ナリ○廻字モ同
意ナリ

輒弁ソノマ、ト譯ス、即字ト
同意ナリ○輒輒得答ノ類

載弁則字ト同意ナレ、大槩、
句ノ頭ニオク字也○載脂載
牽ノ類ナリ

頗カイブン○ヨホドト譯
ス○字書ニ多有、曰、頗有ト註
セリ○猶頗放失○頗美ノ類
須スバカラクセヨト譯シ、下知ノ
詞ニナル也○二程全書、其外

語録ノ類ニ別シテ多出タリ
○須ス著ル知ル此レ說ハ○陸龜蒙方詩
三、須是古壇秋霖後、靜焚香炷
檜寒星ト云モ寒星ヲ禮セヨ
ト下知シタル詞也

既ニ已ニ並ニ同意也、モハヤ
ト云詞ナリ○字書ニ既盡也
訖也ト註セリ○孰謂子產賢
予既烹而食之○既而曰、礪碎
乎ト頭ニアルトキハ、モハヤ
サラバト、歸リサマニ言タ
也○其身已死、其鬼不靈○已

而夕陽在山トハ、モハヤ飯ラ
ント云ト也○既ニ已ニ續ケル
ハ、強ク云フ時ニ用ル也

所謂ニ已ニ所彼ニイフ
所ト、コトハル詞ナリ○九文
章ノ中ニ所謂トアルハ皆古
語カ、古書ニアル前賢ノ言ヲ
引用ル時ニ、必コトハル詞也

フナリ

無寧^レイツソト云^レ詞ナリ○

與其^レ死於^レ臣之手也^{ナリ}無寧^レ死於

二三子之手乎^ト云^レ註ニ無寧

寧也^ト註セリ

無乃^レ吟ヤハリト云^レ辞ナリ○

是^レ猶^レ栖者與^レ無^レ乃^レ為^レ後乎^ト云

時ハ、栖栖セズニ、ヤハリ後ヲ

スルカト云フ也

而已^レハカリト云^レ詞也、字書

ニ○蠲^レ盡^レ而無^レ餘^レ之^レ辞也トア

リ○期月^レ而已^レ可^レ也○今^レ校^レ九

尺四寸、以^レ長^レ食^レ粟^レ而已^レノ類也

○而已^レ耳^ハカリデコソアレ

ト云^レ詞ナリ○收^レ之^レ而已^レ耳^ト

云^レ時ハ、收ルバカ、デコソアレ

ト云フ辨也

已^レ矣^レデコソアレト云^レ詞ナ

リ○論語ニハ耳字ナクテ耳

字^レ代^レニ、已^レ矣^レノ二字ヲ多ク用

ユ、而字ノアルト、ナイトニテ

違フ也○祭思敬^レ喪思哀^レ其可^レ

已^レ矣^レ此類ナリ

每每^レタビ^レト云^レナリ、字

書ニ○每每^レ常^レ也ト註セリ

姑息^レイツカイガシ、乳母養

ヒト云^レ也、姑息^レ之^レ愛ト云テ

物ヲホシガリテ泣ク時、毒ナ

ル物ト知リツ、姑ク與ヘ食

シメテ、泣ヌヤウニスルヲ云

フ、アトノワルヒト知リ、鼻ノ

サキノ補ヲスル也

丁寧^レネンヲイレル也○

丁寧^レ反覆ト云フ時ハ、念入レ

テ操リ返スト云フ也

所以^レシワガト云^レ詞也、字書

ニ○事^レ必有^レ因^レト註セリ○古

之大學^レ所以^レ教^レ人^レ法也ノ類

至若^レ至^レ如^レ加之^レ

皆同意ナリ、ソレバカリデナ

